

# 東北農政局支援活動(3月14日～3月31日)

## 活動概要

東北農政局災害対策本部:4月1日現在

- 県と調整の上、現地事務所、通勤困難職員が被災地への迅速な食料調達・配送や避難所での支援活動に参加。
- 官用車を緊急車両に登録し、県、市町村と連携した物資配送等の支援活動を推進。
- 湛水した地域の日でも早い復旧を図るため、全国から災害用応急ポンプを集め排水作業を継続。3月22日、局、農政事務所に大震災総合相談窓口を設置。
- 土地改良区の要請により施設点検・取水点検に職員派遣。

## 活動内容

| 支援手段<br>支援内容                 | 避難所等での人的支援・官用車による運送、送迎支援   | ポンプによる排水対策等<br>水利施設の復興に向けた取組   | その他(関連対策の取組等)  |
|------------------------------|--|--|--|
| 支援人員(日換算延べ*)<br>官用車数(日換算延べ*) | 1,395人<br>426台   | ポンプ 87台  | ○食品会社の食料支援に必要な燃料を、局が建設業者を仲介して融通。<br>○職員が老人介護施設に米120kgなどの食料を提供、義援金を中央共同募金会へ送付。<br>○事務所所有の男性用下着セットを支援物資として提供。          |
| 支援内容                         | ○各市町村からの食料・物資等の支援要望を把握し、県へ支援要請<br>○物資配送支援<br>○支援物資の搬出・搬入・仕分け作業支援<br>○炊き出し作業支援  | ○湛水した地域を災害応急用ポンプによる強制排水の取組<br>○流木等の堆積物の除去作業の実施<br>○排水樋門の通水機能回復作業の実施  | ○職員有志により集めた食料及び衣類等を宮城県の被災地へ直接搬入。<br>○甚大な被害に見舞われた石巻市を支援するため同市災害対策本部に職員を派遣。<br>○関係機関と連携して機動的な排水対策に取り組むために、土地改良区に職員が常駐。 |
| 支援対象市町村数<br>市町村名             | [ 33市町村 ]<br>岩手県 [ 盛岡市、宮古市、花巻市、遠野市、一関市、陸前高田市、奥州市、滝沢村、山田町、野田村、岩泉町 ]<br>宮城県 [ 仙台市、石巻市、気仙沼市、多賀城市、東松島市、山元町、南三陸町 ]<br>福島県 [ 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、田村市、桑折町、川俣町、猪苗代町、矢吹町、棚倉町、塙町、矢祭町、鮫川村 ] | [ 10市町村 ]<br>宮城県 [ 仙台市、石巻市、名取市、岩沼市、東松島市、亘理町、松島町 ]<br>福島県 [ 相馬市、南相馬市、新地町 ]  | ○避難所で使用する「薪ストーブ」要望取りまとめ。<br>○土地改良区の要請による施設点検支援。<br>岩手、福島・・・108人(日換算延べ)<br>○大震災に伴う土地利用調整・災害廃棄物処理緊急対応を整備。              |
| 主な活動実績                       | ○現場事務所職員や通勤困難職員が、近隣の避難所で被災者支援活動への参加。<br>○農林水産省がチャーターしたヘリコプターで、新潟から包装米飯7千食を宮城県登米市へ空輸し、被災地へ搬送。<br>○マスコミで報道された食料の困窮している2集落へ職員が支援物資を配達。<br>○物資補給基地(東松島市体育館)において、物資の搬出・搬入、仕分け作業。              | ○全国の農政局にポンプ派遣の要請を行い、宮城県、福島県からの貸し出し要請に迅速・集中的に対応。<br>○農地地理情報GISシステムを活用した被害報告及び災害復旧申請等の簡素化のため、必要なデータを入力。<br>○農村工学研究所による仙台市南部から山元町に至る沿岸農地の被害状況及び水位低下対策を宮城県と共同実施。<br>○ため池、ダムの被害状況及び電気検査を福島県と共同実施。 |  |

\* 震災が発生してからこれまでに局、管内農政事務所、国営事業(務)所、(森林管理署)から派遣された人数及び官用車の台数。ポンプは稼働中、交換する待機中を含めた配置台数。